

市民の皆さんの自由投稿コーナー
みんなの広場

埼玉県中学生ロボットコンテスト優勝
八幡中学校

平成25年11月15日、春日部ウイングハットで、ロボットコンテスト予選会が行われ、「ワンツーチャンス部門」と「エコメッセーシタワー部門」の2部門に出場し、優勝しました。

ワンツーチャンス部門



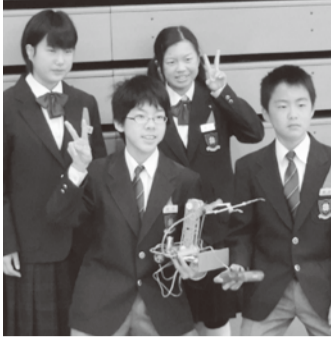
感想

▼大会の前日にたくさん練習しましたが、決勝戦は緊張しました。でも100パーセントの力が出せました▼まさか優勝できるとは思っていませんでした。確実にピンポン玉を入れられるように何度も練習しました。優勝できてうれしいです。

私たちが手作りしたロボットをリモコンで操作し、長さ1メートル80センチの距離を障害物を避けながら30秒以内に幅が約30センチの箱へピンポン玉をいくつ入れることができるかを競いました。



エコメッセーシタワー部門



ロボットが紙コップ6個を、ピラミッド状に積み重ねる速さを競いました。また、ロボットには、ハサミのようなアームが付いており、注射器の水圧で、アームの挟み具合をコントロールします。

感想

▼対戦相手はすごく強くて不安でしたが、勝つたので自信ができました▼ロボットを作るときは苦労しました▼優勝できて感激しました▼みんなの団結力があつたから勝つたのだと思います。



穏やかな古典音楽の音色



1月12日、八潮メセナの1階ロビーで、「新春ロビーコンサート古典音楽の集い」が開催され、約80人が来場しました。このコンサートは、八潮メセナで活動している雅の会によって、長唄と箏、三弦の演奏などが行われました。来場者からは、「新春の雰囲気になれた」「古典音楽に触れて心が洗われた」との感想が聞かれ、幻想的な音色を楽しんでいました。

弓ぶちで今年の吉凶を占う



1月12日、木曾根の氷川神社で、500年前頃からの祭礼と伝えられる、オビシャ行事「木曾根の弓ぶち」が行われました。オビシャ行事は、弓矢で的を射ることによってその年の吉凶を占うもので、「八潮市のオビシャ」として、木曾根・鶴ヶ曾根上・鶴ヶ曾根下で行われる弓ぶちが、県の無形民俗文化財に選択されています。射手の家族や氏子たちが見守る中、雄雌の鬼を表す「鬼」「鬼」が描かれた的に矢が命中すると歓声が沸き上がっていました。

ありがとう。感謝の気持ちの10倍返し!



1月13日、八潮メセナで、「平成26年八潮市成人式」が開催されました。今年も、成人式実行委員会が企画し、「ありがとう。感謝の気持ちの10倍返し!」のスローガンのもと、567人の新成人が参加しました。式典、アトラクション、成人のつどいの3部構成で行われ、会場では、着物姿やスーツ姿の新成人がはじける笑顔で喜び合い、久しぶりに会う友だちと親交を深めていました。

カラフルな鬼ができました



1月24日、やわた子育てひろばで「節分」にちなみ、ペットボトルで作る鬼の製作が行われ、34組70人の親子が参加しました。色付きの水が入ったペットボトルに、シールで目、鼻、口を付けて、画用紙で作った眉毛を両面テープでとめて、毛糸で作った髪の毛を付けました。子どもたちは、できあがった鬼の作品を並べて色の違いなどを楽しんでいました。

いきいきやしお写真館

この広報紙は、再生紙と大豆インクを使用しています。

◆広報やしおは、毎月1回、10日(新聞休刊日を除く)に新聞折り込みで配布しています。届いていない世帯の方は、最寄りの公共施設、金融機関、一部のコンビニエンスストア、八潮駅などでお受け取りになれます。なお、次回の新聞折り込みは、3月10日(月)です。